



▶ 今年度も Global Journal がスタートします！



新たに1年生を迎え、平成30年度がスタートします！日比谷高校は平成27年度に東京都教育委員会より「グローバル10」の指定を受け、そして今年度新たに2期目の指定を受けました。今年度で4年目になります。これまでボストン・ニューヨーク研修をはじめ、さまざま講演会や交流活動を行ってきました。昨年からは

姉妹校交流も始まり、グローバルな人材としての資質を向上させるための機会がさらに充実しています。海外研修に参加する生徒だけでなく、すべての生徒がアクセスできる校内外の講演会やイベントが豊富にあります。情報をしっかり手に入れて、積極的に参加してください。

Global Journal は日比谷高校のグローバル教育に関する情報発信のメディアです。また、2階の廊下の掲示板にも大学の講演会やワークショップ、コンテストなどの情報を掲示しています。しっかりチェックして、自分に必要な情報を収集し、学校生活を豊かなものにしてください。

▶ 3月23日 「Harvard Prize Book 授与式」

Harvard Prize Book とは、ハーバード大学の同窓会である Harvard Club が、世界の優秀な高校2年生に本を贈呈するとても名誉ある賞で、日比谷高校では今年で3年目の受賞となります。今年度は、ボストン・ニューヨーク研修のグループ・リーダーが受賞しました。

プレゼンターとして、一橋大学大学院商学研究科・商学部教授である Christina Ahmadjian 氏に來校いただきました。同氏は、教職に加えて日本の大手企業の取締役なども勤められ、世界を舞台に活動されていて、まさにグローバルな人材として活躍されている方です。受賞に先立っての講演では、今まさに日比谷高生が必要としている考え方についてお話しくささいました。印象的なフレーズは、”Jump out of your comfort zone.”です。常に世界に目を向け、挑戦を続けることの重要性についてお話しくささいました。ボストン・ニューヨーク研修に参加した生徒たちとの懇談会も行っていました。

▶ 3月22日 「日比谷高生 OBOG による未来トーク」



3月22日（木）本校大会議室においてが行われました。NPO 法人アスデッサンの協力によるもので、2013 年度卒業生が集まってイベントを開催してくれました。

それぞれの自己紹介から始まりました。アメリカに留学した人、アフリカに足繁く通いながら農業土木を研究し、インターンシップでウガンダの会社で働いていた人、国際的な交流を深めながらミス・インターナショナルにも挑戦した人、プログラミングのベンチャー起業の立ち上げを計画している人など、日比谷生のバイ

タリティの強さが伺えました。

（先輩方のお話）

- ◇ 必ずしも第一希望の大学に進んだわけではなかったけれど、大学に進んでから目標が明確になった、でも在学中に気づくこともできたかもしれなかった。
- ◇ 在学中に授業をとおして自分の目標が明確ではあったが、大学に入ってさらに明確になった。農業に興味があったが、農業でも物理寄りの農業土木という自分に合った学問に出会えた。
- ◇ 大学1年生の夏にハーバード学生会議というイベントに参加したことをきっかけに、自分の目標が明確

になった。興味が変わってしまい学内で転科を考えたが、自分に合ったゼミに参加することができて、今は満足している。

◇ 高校在学中にやりたいことはなかったが、インドネシアに留学したことで目標が明確になった。

主催者の小山田さんは、大学での勉強をとおして「教育」というフィールドに興味をもつようになり、社会人になってもボランティア活動なども通じて貢献したいという気持ちがあるそうです。今回の未来トークもこういった思いから生まれたそうです。

後半は少人数でフリートークを行いました。在学生からの「日比谷高校での勉強はどうでしたか？」という質問に対して、あるOGは「自分も体育大会実行委員などで忙しくしていた。早い段階で基礎事項をしっかり固めておけば、学校行事も十分取り組めるはず」というお話をされていました。また、「数年前の日比谷高校では海外に向けた情報があまりなかった。今はたくさんの情報や機会があり、みなさんは世界にアクセスしやすいはずではないでしょうか？」という助言もありました。

(先輩方からのメッセージ)

◇ 情報はたくさんあるはず。「挑戦」が大事！

◇ 大学入試まではランキング。大学に入ってから仕事とのマッチング。自分の才能をいかに発揮できるかです。

◇ 変に凝り固まらず、さまざまなことに興味をもって大学を目指してください。

◇ 自分から行動していく、という意識を強くもつとよいです。

諸先輩方のアドバイスから、今後の進路についてのヒントを得られたと思います。このような機会をこれからも活用して、将来の進路について考えていきましょう。

➡ 3月23日 「高校生 One-up↑講座 NHK ラジオ英会話」 収録観覧

NHKの「ラジオ英会話」の収録観覧に日比谷高生2名が参加しました。「ラジオ英会話～ハートでつかめ！英語の極意～」と題して行われた講座には多くの参加者があり、盛り上がったようです。

(参加者の感想)

・普段から聴いている「ラジオ英会話」の講演会に参加して、多くのことを学ぶことができました。例えば英文の構造について、大西先生は「前から指定」と「後ろから説明」という2つのキーワードで説明されました。この方法による解釈は今まで自分が知っていたものとは全く異なり、目から鱗でした。今回の経験を踏まえ、英語学習をさらに深めていきたいです。(36R H.N.君)

・英語を話すための重要な技術である「発音・語順・イメージ」を、思わず引き込まれる軽妙な話の中に巧みに織り込んで教えてくださったので、あっという間の1時間半でした。「英語を日本語に訳すのではなく、英語を英語として理解することが、今後の英語教育にとって大切であり、私は『ラジオ英会話』を通じてそれを実現する。」という大西先生のお話が印象的でした。(35R A.M.君)